

オータム・ジャズコンサート 2017

「エリック・アレキサンダー演奏会」

～テナー・サクソでスタンダードジャズを～

Early Autumn Jazz Concert "Eric Alexander Quartet"



エリック・アレキサンダー
Eric Alexander
(Tenor sax)



田窪 寛之
Hiroyuki Takubo
(Piano)



パトリック・グリ
Patrick Glynn
(Bass)



デニス・フレーゼ
Dennis Frehse
(Drums)

2017年10月20日(金)

会場 国立新美術館1階ロビー

開場 18:00 開演 18:30 入場無料

(予定演奏時間 約1時間)

Fri., October 20, 2017 @NACT 1F Lobby

Open / 18:00 Start / 18:30 Free Admission

Eric Alexander(エリック・アレキサンダー)

[Tenor sax]

温かく磨き上げられた音色、そして力強いメロディーとハーモニーのイマジネーションを誇るテナーサクソプレーヤー。6歳でピアノ、9歳でクラリネット、12歳でアルトサクソ、その後テナーサクソに移る。91年にセロニアス・モンク・インターナショナル・サクソフォン・コンクールで2位を獲得し、90年代にプロデビュー。92年にリーダーアルバムを発表。レコーディングではリーダーとして、またプロデューサーとしての才能を発揮し、コンポーザーとしても多数作曲している。彼の音楽は各所から絶賛されているが、華々しいビバップジャズの伝統の中で自分の「声」を確立してきた。ニューヨークに拠点を置き、“スモークジャズ&サパークラブ”などで活躍中。

田窪 寛之(たくぼ ひろゆき)

[Piano]

4歳よりピアノを習い始める。Bill Evansの音楽に出会い、高校時代よりジャズを独学で学び、高校卒業後渡米、バークリー音楽院入学。アメリカで研鑽を積む。2004年、カリブ海クルーズ客船のピアニストとして演奏活動。2005年4月に帰国。2009年横浜ジャズプロムナードのジャズコンペティションで山田拓児クインテットのメンバーとしてグランプリを受賞。2010年から川嶋哲郎カルテット、中林薫平カルテット、谷口英治 newカルテットなどで活躍。現在は自身のトリオ以外でも日本のジャズ界を代表するバンドでピアニストを務め、その端正なタッチで人気を博している。2017年5月、リーダーアルバム「Tone Painting」を発表。

Patrick Glynn(パトリック・グリッ)

[Bass]

米国ニュージャージー州ウエストフィールド出身。8歳の時トランペットを始め、後にベースギターとコントラバスを始める。ジェームスマディソン大学(B.M.、チューバ)と北イリノイ大学へ入学(M.M. コントラバス)。Mary Poppins, Chicago : The Musical, Chitty Chitty Bang Bang等を始めとし、沢山のブロードウェイショーにて演奏。また、ニューヨークのBlue Note, Small'sなどジャズクラブでも活躍。2007年に来日してからは、国内著名なアーティスト達と共演。2014年12月に初のリーダーアルバムをリリース。レイクランド大学ジャパンキャンパスでも音楽を教えている。

Dennis Frehse(デニス・フレーゼ)

[Drums]

ドイツ・ハノーファー生まれ。10代の頃からジャズコンテストなどで数々の賞を受賞した後、奨学金を得て、バークリー音楽大学に入学する。2004年に首席で卒業。ドイツ帰国後は、ブランフォード・マルサリス、ジェシ・デイビス、マーク・マーフィーなどと共演し、全欧各国での演奏活動を幅広く展開すると同時に、教育の場でも実績を挙げる。2009年、拠点を東京に移してからは、渡辺貞夫、小曾根真のバンドに参加するなど、新たな活動を広げている。2013年にはリーダーアルバム「trifoje」、2014年に「rollin'」を今野敏が主宰する78LABELよりリリース。<http://www.dennisfrehse.com/>